

## 審議会会議録

|    |            |   |
|----|------------|---|
| 1  | 会議の名称      | 令和5年度第3回富津市子ども・子育て会議  |
| 2  | 開催日時       | 令和6年2月1日（木）<br>午後1時30分～午後2時43分  |
| 3  | 開催場所       | 富津市役所2階 第3委員会室  |
| 4  | 審議等事項      | 議題<br>(1)第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について<br>(2)特定教育・保育施設の利用定員の変更について<br>認定こども園みなと幼稚園   |
| 5  | 出席者名       | ○出席委員<br>牧野千恵、齋藤みゆき、榎本有実、上原絢子、<br>浅倉正幸、渡瀬栄一、宮原俊一、高林めぐみ、<br>木村望、今井常夫、オノミチ三由紀、棟方淳子、<br>宗政朱利、諸岡賛陞<br>○事務局<br>石井健康福祉部長、吉原こども家庭課長、<br>水島子育て支援係長、國吉家庭相談係長<br>小野田保育課長、田内保育課長補佐、<br>渡辺保育係長、圓川健康づくり課主査、<br>田口学校教育課指導主事 |
| 6  | 公開又は非公開の別  | <input checked="" type="checkbox"/> 公開      ・      一部非公開      ・      非公開  |
| 7  | 非公開の理由     |   |
| 8  | 傍聴人数       | 2人（定員5人）  |
| 9  | 所管課        | 健康福祉部こども家庭課子育て支援係<br>電話 0439-80-1256  |
| 10 | 会議録（発言の内容） | 別紙のとおり  |

令和5年度第3回富津市子ども・子育て会議 会議録

| 発言者                       | 発言内容  |
|---------------------------|---|
| <p>事務局<br/>(田内保育課長補佐)</p> | <p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日机上には、会議次第、委員名簿、席次表、資料3差替「特定教育・保育施設の利用定員の変更について」、資料4差替「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画（中間年の見直し後）における影響」、資料5差替「みなと幼稚園入所児童数推移」、資料7「事前に出された意見と市の考え方」をお配りしております。</p> <p>また、事前に資料1「第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について（こども大綱勘案後）」、資料1参考資料として、「こども大綱（抜粋）」、資料2-1「第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査票（案）（就学前の保護者対象）」、資料2-2「アンケート調査票（案）（小学生の保護者対象）」、資料6「こども誰でも通園制度（仮称）の創設」をお送りしております。また、資料送付時に「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画書」、「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画中間年の見直し」を持参いただくようご案内させていただいております。</p> <p>以上が本日の会議資料でございますが、お揃いでしょうか。</p> <p>&lt;次第1 開会&gt;</p> <p>それでは定刻となりましたので、ただいまから令和5年度第3回富津市子ども・子育て会議を開会させていただきます。</p> <p>改めまして委員の皆様方におかれましては、ご多用のところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日会議の進行を務めさせていただきます健康福祉部保育課の田内と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p> |

| 発言者  | 発言内容   |
|------|--|
| 高橋市長 | <p>着座にて失礼させていただきます。</p> <p>それでは会議次第に沿って進行の方をさせていただきます。</p> <p>開会にあたりまして高橋市長から、ご挨拶を申し上げます。</p> <p>&lt;次第2 市長あいさつ&gt;</p> <p>改めまして皆様こんにちは。</p> <p>ご紹介をいただきました市長を務めております高橋でございます。富津市子ども・子育て会議の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。</p> <p>初めに元旦に発生いたしました能登半島地震においては、大変多くの方が犠牲となっております。犠牲となった皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、今なお避難所等で大変制限のある厳しい生活を送られている全ての被災者の皆様に対してお見舞いを申し上げたいと思います。</p> <p>私ども富津市の取り組みについて少しだけお話をさせていただきますと、先週5日間、職員2人が珠洲市の避難所の方に避難所運営の応援ということで、参加をさせていただきました。非常に現場の厳しい状況を、まずは支援する皆様のお気持ちに寄り添ってということは当然ですけれども、見てきた中では、今後の私ども富津市の防災力強化に繋げられる点があるというような話も聞いておりますので、ぜひ見てきたこと、聞いてきたこと、感じたことを、本市の防災力向上に繋げてまいりたいと考えております。</p> <p>本日の会議でありますけれども、新年初めての会議でありまして、また新たに委員にご着任をいただいた方も多数いらっしゃいます。まずはご協力いただきます全ての皆様に感謝申し上げます。どうもありがとうございます。</p> |

| 発言者                       | 発言内容   |
|---------------------------|--|
| <p>事務局<br/>(田内保育課長補佐)</p> | <p>本市では令和2年3月に策定いたしました第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画に基づいて子育て支援策に現在取り組ませていただいております。</p> <p>この計画の期間が令和6年度末で終了いたしますことから、次期計画の策定に向け準備を進めております。詳細につきましては後ほど、先ほどご確認をさせていただきました資料に沿いまして、事務局から説明をさせていただきますので、皆様それぞれの立場で忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げます。</p> <p>本市の子育てを巡る環境がより充実したものとなりますように、委員の皆様には任期の期間中、ぜひ活発なご意見、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、大変簡単ですが、私からの挨拶に代えさせていただきたいと思っております。</p> <p>大変申し訳ございませんが、私同時刻、もう一つ、会議を重ねておりますので、ご挨拶で失礼をさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>続きまして、本日の議員の出席状況を報告させていただきます。15名の委員のうち、委員名簿15番の三浦委員におかれましては、本日欠席のご連絡をいただいております。従いまして、14名の方がご出席され、過半数を超えておりますので、富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>続きまして、会議の公開についてご説明いたします。</p> <p>富津市情報公開条例第23条の規定により、会議を公開することとなっております。本日の傍聴人は2名でございます。</p> <p>また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、予めご了承くださいませようお願いたします。</p> <p>続きまして、ご発言の際の注意事項を申し上げます。</p> |

| 発言者                    | 発言内容  |
|------------------------|---|
| 事務局<br>(吉原こども家庭課<br>長) | <p>皆様の前にありますマイクにつきましては、緑色のスイッチを押してからご発言となります。ご発言の際は、恐れ入りますが挙手をいただき、議長からの指名後、ご発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、本日はニーズ調査業務をお願いおります株式会社ぎょうせいから國吉様に同席いただいておりますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、次第の3、委員及び職員の紹介に移らせていただきます。</p> <p>&lt;次第3 委員及び職員紹介&gt;</p> <p>健康福祉部こども家庭課の吉原です。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、委員の皆様をご紹介いたします。</p> <p>委員名簿の順にお名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、その場でご起立をお願いいたします。</p> <p>名簿番号1番子どもの保護者市民公募 牧野千恵委員、2番子どもの保護者公立保育所保護者 齋藤みゆき委員、3番子どもの保護者私立保育園保護者 榎本有実委員、4番子どもの保護者私立幼稚園保護者 上原絢子委員、5番子どもの保護者富津市PTA連絡協議会副会長 浅倉正幸委員、6番事業主代表イオンモール富津ゼネラルマネージャー 渡瀬栄一委員、7番労働者代表連合千葉南総地域協議会幹事 宮原俊一委員、8番事業従事者富津市立竹岡保育所長 高林めぐみ委員、9番事業従事者青堀保育園長 木村望委員、10番事業従事者認定こども園みなと幼稚園長 今井常夫委員、11番事業従事者放課後児童クラブわくわくの樹事務局長 オノミチ三由紀委員、12番事業従事者富津市地域交流支援センターカナリエ所長 棟方淳子委員、13番学識経験者清和大学短期大</p> |

| 発言者   | 発言内容   |
|---|--|
| <p>事務局<br/>(田内保育課長補佐)</p> <p>仮議長<br/>(石井健康福祉部長)</p> | <p>学部専任講師 宗政朱利委員、14 番学識経験者富津市議会議員富津市教育福祉常任委員会委員長 諸岡賛陞委員、15 番学識経験者富津市教育センター所長 三浦貴子委員は本日、欠席でございます。</p> <p>以上の皆様でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、事務局職員を紹介いたします。</p> <p>健康福祉部長の石井です。保育課長の小野田です。保育課長補佐兼施設管理係長の田内です。保育課保育係長の渡辺です。こども家庭課子育て支援係長の水島です。こども家庭課家庭相談係長の國吉です。健康づくり課健康づくり係主査の圓川です。教育部学校教育課指導主事の田口です。</p> <p>以上で、委員の皆様方及び事務局職員の紹介を終わります。</p> <p>&lt;次第4 会長及び副会長の選出&gt;</p> <p>続きまして、次第の4、会長及び副会長の選出に移らせていただきます。</p> <p>本会議設置条例第6条第1項に「会議は、会長が招集し、その議長となる」とありますが、今回は新たな委員での初めての会議となりますので、会長及び副会長が選出されるまでの間、石井健康福祉部長が仮議長を務めさせていただきますので、ご了承くださるようお願いいたします。</p> <p>会長及び副会長が選出されるまでの間、仮議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第4の会長及び副会長の選出について を議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p> |

| 発言者                | 発言内容   |
|--------------------|--|
| 事務局<br>(吉原こども家庭課長) | <p>会長及び副会長の選出について、ご説明いたします。</p> <p>富津市子ども・子育て会議設置条例第5条第1項に、「会議に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選によりこれを定める。」と規定されております。</p> <p>職務としては、第2項で「会長は、会務を総理し、会議を代表する。」、第3項で「副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。」とそれぞれ規定されておりますので、選出をよろしく願いいたします。</p> <p>なお、互選の方法については、条例に規定はありませんが、一般的には委員の投票により決する選挙、指名して推薦による方法があります。</p> |
| 仮議長<br>(石井健康福祉部長)  | <p>ただ今、事務局から説明がありましたが、互選の方法といたしましては、選挙と指名推薦がありますが、いかがいたしましょうか。</p>   |
| 浅倉委員               | <p>指名推薦の方法がよいと思います。</p>  |
| 仮議長<br>(石井健康福祉部長)  | <p>ただいま、浅倉委員より、指名推薦とのご意見がありましたが、指名推薦の方法でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>   |
| 仮議長<br>(石井健康福祉部長)  | <p>ご異議ないと認め、会長及び副会長の選出方法は、指名推薦といたします。</p> <p>はじめに、会長の選出を行います。どなたか会長の推薦をお願いいたします。</p>   |
| 渡瀬委員               | <p>会長には、諸岡委員を推薦いたします。</p> <p>議会でも教育福祉常任委員会の委員長を務められ、以前に</p>  |

| 発言者               | 発言内容  |
|-------------------|---|
| 仮議長<br>(石井健康福祉部長) | <p>もこの子ども・子育て会議の会長を務められているということで、この会議を円滑に進めていただけたらと思いますので、会議の会長として適任と考えます。</p> <p>ただ今、渡瀬委員から、諸岡委員を会長にとの推薦がありました。他に推薦される方はいらっしゃいませんか。</p> <p>他に、推薦される方もいないようですので、諸岡委員に会長をお願いすることにご異議ございませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p> |
| 仮議長<br>(石井健康福祉部長) | <p>ご異議なしと認め、諸岡委員に本会議の会長をお願いすることといたします。</p> <p>諸岡委員、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、副会長の推薦をお願いいたします。</p>  |
| 高林委員              | <p>副会長には、今井委員を推薦いたします。</p> <p>みなと幼稚園で園長を務められており、以前にもこの子ども・子育て会議の副会長を務められているということで、広い視野と豊かな教養をお持ちでいらっしゃると思いますので、副会長として適任と考えます。</p>   |
| 仮議長<br>(石井健康福祉部長) | <p>高林委員から、副会長に今井委員との推薦がありましたが、他に推薦される方はいらっしゃいませんか。</p> <p>他に、推薦される方もいないようですので、ただ今推薦のありました今井委員に副会長をお願いすることにご異議ございませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>   |
| 仮議長<br>(石井健康福祉部長) | <p>ご異議なしと認め、今井委員に本会議の副会長をお願いすることといたします。</p> <p>今井委員、よろしくお願いいたします。</p>   |



| 発言者               | 発言内容  |
|-------------------|---|
| 事務局<br>(田内保育課長補佐) | <p>それでは、会長及び副会長が選出されましたので、これで仮議長の任を解かさせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p> <p>それでは、諸岡委員におかれましては会長席に、今井委員におかれましては副会長席に、ご移動をお願いいたします。</p> <p>それでは、お二人より就任のご挨拶をいただきたいと存じます。諸岡会長から順をお願いいたします。</p>   |
| 議長 (諸岡会長)         | <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>ただ今、会長に推薦いただきました。ありがとうございます。</p> <p>第Ⅱ期子ども・子育て支援事業計画の計画期間が残り1年となります。この会議で第Ⅲ期子ども・子育て支援事業計画の策定を行うということで、今回、アンケート調査等の議題が上がっております。</p> <p>子どもに係る環境も大きく変わっていますので、皆さんの意見を聴きながら、この会議をスムーズに進めたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。</p>  |
| 今井副会長             | <p>副会長に選出されました今井と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>富津市は、少子化が進んでいる中ですが、子育てに頑張っているお母さん方、お父さん方がいっぱいいらっしゃいますし、また、私の園もそうですが、幼稚園、保育園、保育所に子どもたちもいます。その子どもたちのより良い保育、教育ができるように、この会議がうまく機能できることを願っております。そのためにも会長を補佐しながら頑張りたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> |

| 発言者                | 発言内容  |
|--------------------|---|
| 事務局<br>(田内保育課長補佐)  | <p>ありがとうございました。</p> <p>ここからの議事進行は、諸岡会長、よろしくお願ひいたします。</p>  |
| 議長 (諸岡会長)          | <p>&lt;次第5 会議録署名人の指名&gt;</p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>議事に入る前に、本日の会議録署名人の指名ですが、会長のほか、慣例により委員からお一人お願ひしておりますので、今回は宮原委員にお願ひしたいと存じます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>&lt;次第6 議題(1)&gt;</p> <p>それでは、次第6の議題に入ります。</p> <p>議題(1)「第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について」を議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>  |
| 事務局<br>(水島子育て支援係長) | <p>こども家庭課の水島と申します。よろしくお願ひいたします。着座にて説明させていただきます。</p> <p>第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について、ご説明いたします。</p> <p>ニーズ調査の実施については、今年度第1回の本会議においてご審議いただき、国から示される「こども大綱」の内容を勘案して実施することとしたところでございます。</p> <p>資料1 参考資料をご覧ください。</p> <p>この資料は、国から示された「こども大綱」の概要を抜粋したものでございます。</p> <p>「こども大綱」は、全ての子ども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、これまで大人が中心となって作ってきた社会から、こど</p> |

| 発言者 | 発言内容  |
|-----|---|
|     | <p>もを中心とした「こどもまんなか社会」に作り変えていくことを基本に据えています。</p> <p>2ページをご覧ください。この「こどもまんなか社会」の実現のため、6つの基本的な方針が示されました。</p> <p>1点目は、こども・若者を権利の主体として認識し、こどもや若者の最善の利益を図ること。2点目は、その最善の利益を図るために、こどもや若者、子育て当事者の意見を聴きながら、こども施策をともに進めていくこと。3点目は、こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく支援すること。4点目は、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにすること。5点目は、若い世代が、自らの主体的な選択により、結婚し、こどもを産み、育てたいと望んだ場合に、それぞれの希望に応じて社会全体で支援していくこと。6点目は、関係省庁や地方公共団体等が、それぞれの連携を重視すること。以上6つの基本方針が示されました。</p> <p>資料1をご覧ください。</p> <p>この「こども大綱」の内容を勘案し、改めて第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について、ご説明いたします。</p> <p>目的については、これまでと変更はありませんので、説明は省略いたします。</p> <p>アンケート調査の実施方法等について、アンケート調査の実施にあたっては、平成26年1月20日付事務連絡にて国から示された「市町村子ども・子育て支援事業計画における量の見込みの算出等のための手引き」及び令和5年9月20日付事務連絡で示された「第三期市町村子ども・子育て支援事業計画等における量の見込みの算出等の考え方」これを第三期手引きと呼ばせていただきます。これらの内容を踏まえ実施</p> |

| 発言者 | 発言内容  |
|-----|---|
|     | <p>いたします。</p> <p>調査の対象は、就学前児童の全保護者及び小学1年から6年生の市内小学校の保護者を対象に実施いたします。</p> <p>調査の方法は、就学前児童の保護者には、調査票を郵送し、返信用封筒による返送、通園している園への提出又はWEBの専用フォームから回答していただき、小学生の保護者には、学校にて配布・回収又はWEBの専用フォームから回答していただきます。</p> <p>調査の内容は、就学前、小学生の保護者共通の事項といたしまして、家族の状況や保護者の就労状況、子どもの貧困・虐待、ヤングケアラーに関することなどを伺います。</p> <p>その他、就学前の保護者には、保育所等の利用状況や休日の利用希望、地域子育て支援センターの利用状況、子どもが病気になった際の対応などについて伺います。</p> <p>小学生の保護者には、放課後の過ごし方や休日や夏休みなどの長期休業期間中の学童保育の利用希望、子どもが病気になった際の対応などについて伺います。</p> <p>なお、調査票には、無記名形式で回答していただきます。</p> <p>次に、第Ⅲ期子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の考え方についてご説明いたします。</p> <p>第Ⅰ期子ども・子育て支援事業計画策定時は、国から発出された「調査票イメージ」及び「ワークシート」を用いて「量の見込み」を算出しておりました。</p> <p>しかし、この「量の見込み」が実績値とかい離している事例が全国的に見られたことを踏まえ、第Ⅲ期手引きにおいては、第Ⅲ期子ども・子育て支援事業計画策定においては、「必ずしも手引きに記載している方法により算出する必要はなく、各市町村の実情に応じて適切に対応することが可能である」旨が示されました。</p> |

| 発言者 | 発言内容   |
|-----|--|
|     | <p>裏面をご覧ください。</p> <p>これを受け、（１）幼児期の教育・保育については、第Ⅱ期子ども・子育て支援事業計画で設定している「教育・保育提供区域」の見直しの検討のため、潜在的なニーズを把握する必要があることから、国から発出されたワークシートを用いて「量の見込み」を算出します。（２）地域子ども・子育て支援事業は、子ども・子育て支援法により地域の実情に応じて実施することが求められている事業で、一時預かり事業や病後児保育事業、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）などを含む13の事業がこれに当たりますが、第Ⅱ期の計画において、国から発出されたワークシートを用いて算出した量の見込みが、実績値とかい離していたことから、計画期間の中間年である令和4年度において、実績値を基に量の見込みを見直していることを踏まえ、第Ⅲ期の計画では、これまでの実績値を基に量の見込みを算出することとします。</p> <p>調査スケジュールにつきましては、本日この会議でご審議いただいた後、調査票を調製し、令和6年3月初旬から下旬にかけてアンケート調査を実施し、調査結果を集計した後、6月から7月頃、この子ども・子育て会議にご報告する予定です。</p> <p>こども計画の策定につきましては、先ほどご説明した「こども大綱」で示された方針を踏まえ、庁内関係部局と協議し、こども計画の策定について検討いたします。また、計画策定に際しては、子ども、若者から意見を聴取していきます。</p> <p>続いて、資料2-1及び資料2-2をご覧ください。</p> <p>これは、保護者に回答いただくアンケート調査の調査票（案）です。</p> <p>各設問番号の脇に、赤字で「必」や緑の文字で「任」などと書かれておりますが、赤字で「必」と書かれた設問は、国</p> |

| 発言者 | 発言内容  |
|-----|---|
|     | <p>が示した調査票イメージにおいて、聴取することが必須となっている設問です。緑の文字で「任」と書かれた設問は、国が示した調査票イメージにおいて、聴取することが任意とされている設問です。黄色で「独」と書かれた設問は、富津市独自の設問です。設問全体が青字で書かれている設問は、先ほどご説明した「量の見込み」を算出するにあたり、国から発出されるワークシートを用いるために必要な設問です。最後に、赤の△印が書かれている設問は、これまでの実績値等により量の見込みを推計する設問です。</p> <p>設問の内容は、平成 30 年度に第Ⅱ期計画策定のために実施したニーズ調査の調査票を基に、ご協力いただく保護者のご負担を考慮し、計画策定に必要な設問を抜粋し、ヤングケアラーなど前回調査時には表出していなかった新たな課題に対する設問を追加し、調査票（案）を作成いたしました。</p> <p>最後に、本議題に対し、事前に出された意見と市の考え方について、ご説明いたします。</p> <p>ご意見をお寄せいただいた委員におかれましては、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございますございました。</p> <p>資料 7 をご覧ください。</p> <p>齋藤委員から、「回収率を上げるために、郵送・通園している園への提出に加え、支援センターを提出場所に加えるのはどうか。通園していない場合で支援センターを利用している対象者の回収率を上げられるのではないかと思います。」というご意見をいただきました。これに対する市の考えは、子育て支援センターを提出場所に加えることとし、調査票にもその旨を追記いたします。</p> <p>浅倉委員から、2 点お寄せいただきました。</p> <p>1 点目の「就学児童の調査対象が市内小学校の保護者とありますが、市外に通う方は対象としないのか。しないとするな</p> |

| 発言者                | 発言内容  |
|--------------------|---|
|                    | <p>らその理由を教えてください。もしくは、そもそもいないのでしょうか。」というご意見に対しましては、「アンケート調査票を学校にて配布・回収するため、調査対象を市内の小学校の保護者としています。市のLINEや広報等でアンケート調査の実施について周知し、市外の小学校に在籍する児童の保護者もWEBにより回答できるよう進めていく予定です。」</p> <p>2点目の「就学前児童、就学児童のアンケートともに、「子育てに関して気軽に相談できる先はどこか」の回答の選択肢に配偶者がいないのはなぜでしょう。その他で選ぶ、または対象としないのでしょうか。」というご意見に対しましては、「選択肢に配偶者を追加します。」</p> <p>以上で説明を終わります。</p> |
| 議長（諸岡会長）           | <p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご意見、ご質疑等がございましたらお願いします。</p>  |
| 今井副会長              | <p>基本的な質問で申し訳ないのですがけれども、この第Ⅲ期計画が2025年から2029年度に向けて策定されるというところで、私達子ども・子育て会議委員のこの計画策定に関する役割、どういうことを担ってこの会議が開かれるのかというところを説明していただければと思います。</p>   |
| 議長（諸岡会長）           | <p>事務局の説明を求めます。</p>   |
| 事務局<br>(水島子育て支援係長) | <p>富津市子ども・子育て会議設置条例第2条で、この支援事業計画に関するご審議をいただくということを条例で定めております。</p> <p>今回第Ⅲ期計画の策定に当たりまして、策定の方針ですと</p>   |

| 発言者                             | 発言内容  |
|---------------------------------|---|
| <p>事務局<br/>(吉原こども家庭課<br/>長)</p> | <p>か、計画の内容につきまして、この会議でご意見を頂戴したいと考えております。以上です。</p> <p>水島の回答に補足させていただきます。</p> <p>この会議の委員の皆様におかれましては、それぞれの立場のスペシャリストの方ですとか、今実際子育てに当たられている保護者の皆様にお集まりいただいております。</p> <p>それぞれの立場におかれましての貴重なご意見を第Ⅲ期計画に加えさせていただければ大変ありがたいと思っておりますので、皆様からのご意見をお待ちしております。よろしくお願いたします。</p>   |
| <p>議長 (諸岡会長)</p>                | <p>他にございますか。</p>  |
| <p>渡瀬委員</p>                     | <p>このアンケートですけれども、私、商業施設を運営しているとよく思うのですが、こういうアンケートってやはり謝礼とかないとなかなか書いていただけないのではないかなと思います。もちろん予算問題もあると思うのですが、結構ボリュームがあるアンケートでございますので、やはり何かしらの見返りという言葉が違うかもしれませんが、無かったらやはり書いていただけるのは難しい場合もあるのではないかなと正直これを見て思いました。</p> <p>我々も年に1回ぐらいそうしたアンケートで、このモールはどうですかというものをさせていただくのですが、その場合に謝礼を付けているケースがあるので、回収率を上げるということを目的でやられるのであれば、これをやるのが目的だったら別かもしれませんが、回収率を上げてそれを活かすということが目的であれば何かしらそういうことが必要ではないのかなと思った次第です。以上です。</p> |



| 発言者                | 発言内容   |
|--------------------|--|
| 事務局<br>(水島子育て支援係長) | <p>貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。予算等の兼ね合いもありますので、報酬的なものは予定しているものはないですけれども、保護者の方々にご負担なく回答していただきやすいよう、回収先を学校や通われている園、支援センターにご協力いただいて、なるべく回答していただきやすいような環境を整えていきたいというように考えおります。以上です。</p>                       |
| 議長 (諸岡会長)          | <p>他にございますか。</p>   |
| 浅倉委員               | <p>前回のニーズ調査の回収率の実績がどれぐらいなのかということと、今回の目標値などありましたら教えてください。</p>   |
| 事務局<br>(水島子育て支援係長) | <p>前回調査の回収率につきましては、就学前の保護者には49.6%、小学生の保護者につきましては、80.1%の回収率でございます。</p> <p>第Ⅲ期計画に当たりましても、同程度の回収率を維持できるように進めていきたいと考えております。以上です。</p>   |
| 議長 (諸岡会長)          | <p>他に何かございますか。</p>   |
| 今井副会長              | <p>幼児の方の回収率が低いということですが、例えばうちの園ですと、メール等でこういうアンケートがあるのでご協力くださいというような文章を、PDF等で添付して保護者に依頼をするという方法もあります。</p> <p>他の保育所等についてもそのような手段というものがあると思います。幼稚園名とか保育園名でそういう文章を出すことは可能ですので、市の方で検討していただければ協力できると思います。</p> |

| 発言者                        | 発言内容  |
|----------------------------|---|
| <p>事務局<br/>(吉原こども家庭課長)</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>市の方も各保育園、保育所、幼稚園の方にご依頼させていただきまして、回収率の向上に努めてまいりたいと思います。</p> <p>その際にはお手数をおかけしますが、各園の園長先生、所長先生におかれましてはご協力をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>それと併せまして、こども家庭課でっておりますLINEですとか、市の公式LINEでも、周知に努めてまいりたいと思います。</p>  |
| <p>議長 (諸岡会長)</p>           | <p>他に何かございませんか。</p>   |
| <p>宗政委員</p>                | <p>アンケートの回収率についてですけれども、49.6%という結果で、それ以外の方々がどうして提出されなかったのかというところの分析はされてはいないのでしょうか。</p>   |
| <p>事務局<br/>(水島子育て支援係長)</p> | <p>どなたが回答にご協力いただけなかったかというのは無記名の回答になっていますので、個別にご事情を伺うとか、そういったことができませんので分析までには至っていないというのが現状でございます。以上です。</p>   |
| <p>宗政委員</p>                | <p>提案ですけれども、回答しなかった方たちがもしかしたら何の不满もなく、特に自分のところには必要ないと思ってこういうアンケート調査に回答されていないというようなことも一つの数字の表れなのかなと思います。</p> <p>なるべく多くの方たちの実態を把握したいのであれば、ぜひアンケートのこの用紙に工夫も必要なんじゃないかなと思います。例えば未就学園児のお母様、お父様達は若い世代ですので、この一般的な行政が行うようなアンケートそのもの</p> |

| 発言者         | 発言内容  |
|-------------|---|
|             | <p>にやはり興味を示されないのかなということと、このアンケートを一見したときに、支援事業計画策定のためのアンケート調査というものが、具体的に自分が答えてどのような結果を自分にもたらすのかというのがとても分かりにくいのかなと思いますので、あなたたちの意見、内容で富津市の子育てのいろいろな支援施策、サービスが、難しい言葉ではなくて分かりやすい言葉を用いながら、あとは行政で別途難しい行政用語で文章化すればいいのであり、実際に家庭に配布するときは分かりやすくイメージしやすいこと、それから目的ですね。具体的にそれがどのようにサービスが拡充拡大されるのかというメリットというものが全面にあった方がいいのかなと思いました。以上です。</p> |
| 事務局         | <p>貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。</p>  |
| (水島子育て支援係長) | <p>今、委員からいただいたご意見を参考に、調査票を調整していきたいと考えております。以上です。</p>  |
| 議長          | <p>他に何かありますか。</p>   |
| (諸岡会長)      | <p>ないようでしたら、ここで株式会社ぎょうせいの國吉様におかれましては、ご退席いただきます。ありがとうございました。</p>   |
|             | <p>&lt;次第6議題(2)&gt;</p>   |
|             | <p>それでは、議題(2)「特定教育・保育施設の利用定員の変更について」を議題といたします。</p>  |
|             | <p>事務局からの説明を求めます。</p>   |
| 事務局         | <p>保育課の渡辺です。よろしくお願いたします。着座にて</p>  |
| (渡辺保育係長)    | <p>説明させていただきます。</p>   |

| 発言者 | 発言内容   |
|-----|--|
|     | <p>私からは、議題（２）「特定教育・保育施設の利用定員の変更について」ご説明いたします。</p> <p>資料３「特定教育・保育施設の利用定員の変更について」をご覧ください。</p> <p>本議題は、認定こども園みなと幼稚園から１月 19 日付けで、利用定員変更の届出がありましたので、その利用定員を定めるに当たり、子ども・子育て支援法第 31 条第 2 項の規定により、本会議でご意見を伺うものでございます。</p> <p>初めに、認定こども園についてご説明いたします。認定こども園とは、保育を必要としない幼稚園部分を利用する児童と、保育を必要とし保育部分を利用する児童が在籍し、教育・保育の両方を一体的に提供する施設です。そのため、認定区分としては、１号から３号までの児童が在籍しています。</p> <p>１号認定とは、満 3 歳以上で、保育を必要としない幼稚園部分を希望する場合、２号認定とは、満 3 歳以上で、保育を必要とし、保育所や認定こども園の保育を希望する場合、３号認定とは、満 3 歳未満で、保育を必要とし、保育所や認定こども園の保育を希望する場合は該当します。</p> <p>中段の表をご覧ください。</p> <p>変更内容につきまして、年齢ごとに見ますと、１歳が 3 名から 5 名で 2 名増、３歳の 1 号認定が 20 名から 10 名で 10 名減、４歳の 1 号認定が 25 名から 10 名で 15 名減、５歳の 1 号認定が 25 名から 10 名で 15 名減となっています。変更後の全体の定員数は 112 名から 74 名で、現定員数と比較して 38 名の減となります。</p> <p>変更理由といたしましては、「地域の少子化が進み、入園希望児童数が減少していくことが見込まれ、現在でも定員を満たすことが難しい。その為、職員の人件費の確保に苦慮している。」とのことであり、令和 6 年 4 月 1 日から変更した</p> |

| 発言者 | 発言内容   |
|-----|--|
|     | <p>いというものでございます。</p> <p>資料4をご覧ください。</p> <p>次に、「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画（中間年の見直し後）における影響」について、ご説明いたします。</p> <p>本資料は、今回の利用定員数の変更による、第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画への影響をまとめたものとなります。</p> <p>中段には、中間年の見直し後の計画数値の表を、下段には今回の利用定員の変更を反映させた数値の表を記載しています。下段の表、変更後におきまして、量の見込み①の数値を確保方策②の数値が上回ることから、今回の利用定員の変更後も、ニーズは充足される見込みとなっています。</p> <p>また、現計画の数値を、今回の変更後の数値に見直すかにつきましても、確保方策の数値に変動はあるが量の見込みを上回っていること、また、現計画の計画期間が令和6年度末までであることから、現計画の見直しは行わず、次期計画に反映させるものとします。なお、県にも確認済みであります。</p> <p>資料5をご覧ください。</p> <p>こちらは、「みなと幼稚園入所児童数の推移」を記載した資料です。</p> <p>保育利用である1歳児・2歳児、及び3から5歳児の2号認定については、充足率100%を上回っている年もありますが、今回1歳児の利用定員を2名増やすことにより、各年齢において利用定員内になると見込まれます。</p> <p>また、幼稚園部分の利用である1号認定の充足率につきましても、各年度で約10%から60%となっております。</p> <p>園全体としましては、表の一番下の年度末充足率の欄をみていただきますと、各年度において、60%前後で推移しており、利用定員変更後においても、利用定員内になる見込みで</p> |

| 発言者      | 発言内容  |
|----------|---|
| 議長（諸岡会長） | <p>す。</p> <p>以上で、議題の説明を終わります。</p> <p>続きまして、資料7「事前に出された意見と市の考え方」をご覧ください。</p> <p>裏面にあります意見の④、本議題に関しては、浅倉委員からのご意見の内容と市の考えについてご説明いたします。</p> <p>変更の状況は理解するところですが、定員を満たすことと、人件費の確保の相関関係が分からないのでご教示くださいとご意見いただきました。それに対します市の考えですが、認定こども園の運営法人が施設運営に関する経費については、国の定める公定価格に基づき、市から運営法人へ施設型給付費として毎月支払われております。国の公定価格は、利用定員数によって児童一人当たりの単価が定められておりまして、利用定員数が多いほどその単価が低くなります。</p> <p>したがいまして、入所児童数に応じた利用定員数を設定することは、人件費の確保等、施設の安定的な運営に寄与することとなります。</p> <p>下に例といたしまして、3歳児の認定こども園基本分単価を載せております。</p> <p>現在みなと幼稚園の定員数にかかる1号認定の区分は、利用定員61名から75名で、現在は一人当たり37,940円ですけれども、利用定員を変更しますと、変更後は一人当たり49,060円となることとなっております。</p> <p>以上で、私からの説明を終わります。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、次第7の「その他」に移らせていただきます。</p> |

| 発言者                         | 発言内容   |
|-----------------------------|--|
| <p>議長（諸岡会長）</p> <p>高林委員</p> | <p>&lt;次第7 その他&gt;</p> <p>委員の皆様から何かございますか。</p> <p>1点ご報告をさせていただきます。</p> <p>今年度、千葉県では、豊かな自然環境や地域資源と関わる体験活動を通じて、子どもの豊かな人間性を育み、心身の調和のとれた発達の基礎を培うことを目指して行われる「自然環境保育」に取り組む施設等の活動を支援するため、千葉県自然環境保育認証制度を開始しました。</p> <p>竹岡保育所では、以前より、自然環境を活かした保育を行っていたので、今までの活動を報告・申請したところ、富津市第1号として、10月に認証を受け、現在、認証団体として活動しております。</p> <p>昨年度からは入所園児保護者の協力で、田んぼでの田植えや稲刈りも経験させてもらっています。同じく入所園児の祖父母の協力で畑作業も充実しており、自分達で育てた野菜を給食時に食べたり、クッキング保育を行ったりと食育も充実しています。</p> <p>また、今年度は、農地利用最適化推進委員の方から申し出があり、地域の畑でさつま芋掘りもさせていただいています。12月には、田んぼや畑での活動にご協力いただいている方々を招待しての収穫祭を行い、飯盒でご飯を炊いたり、自分達で収穫した野菜を使って味噌汁を作ったりしてもてなしました。その他にも、春から夏にかけての磯遊び、地域へのお散歩、木の実やシーグラスなどの自然物を使った製作活動なども行っています。</p> <p>一昨日、認証団体の交流会があり、私が参加させていただきました。他市の先生方が、磯遊びができることや地域との交流が盛んであることに興味を持たれており、ぜひ交流をし</p> |

| 発言者                | 発言内容  |
|--------------------|---|
| 議長（諸岡会長）           | <p>たいというお話もありましたので、今後、更に活動を深めていきたいと考えております。</p> <p>子育て世帯にとって、富津市の恵まれた自然環境を活かす保育が魅力あるものとなるようにしていきたいと思えます。以上になります。</p> <p>他に何かございますか。</p> <p>本日、これまでの内容で聞き漏らしたこと、確認したいことでも構いませんので、ありましたらお願いします。</p> <p>特にないようですので、事務局から何かありますか。</p> |
| 事務局<br>(水島子育て支援係長) | <p>私の方からのニーズ調査の実施までのスケジュールについてご説明させていただきたいと思えます。</p> <p>本会議で出された意見等を踏まえまして、調査票を調製した後、3月初旬からアンケート調査を実施したいと考えております。</p> <p>なお、ニーズ調査の結果につきましては、先ほどご説明したとおり令和6年度開催の子ども・子育て会議にてご報告させていただく予定です。以上です。</p>                                |
| 議長（諸岡会長）           | <p>他にございますか。</p>  |
| 事務局<br>(渡辺保育係長)    | <p>私からは、国が「こども未来戦略」の中で、全ての子育て家庭を対象とした保育の拡充として創設する「こども誰でも通園制度（仮称）」について、委員の皆さんからご意見を伺いたいと思っております。まずは概要を説明させていただきます。お配りしました資料6をご覧ください。</p> <p>この制度は、0歳6か月から満3歳未満までの、保育所や幼稚園などに通っていない子を対象とし、月一定時間を限度</p>                              |



| 発言者      | 発言内容   |
|----------|--|
| 議長（諸岡会長） | <p>に、親の就労要件等を問わず通園できるものです。</p> <p>一定時間については、令和5年度からの試行的事業においては、月当たり10時間が上限となっております。</p> <p>制度の意義といたしましては、資料二つ目の枠にありますように、こどもが家庭とは異なる経験や家族以外の人と関わる機会が得られる。孤立感や不安感を抱える保護者の負担感の軽減ができる。保育者からこどもの良いところや成長等を伝えられることで、こどもと保護者の関係性にも良い効果がある。給付制度とすることで制度利用のアクセスが向上する。利用状況を自治体が把握でき、支援が必要な家庭の把握などにつながる。となっております。</p> <p>大まかなスケジュールは、その下にありますように、5年度から試行的事業、7年度に法律上制度化、8年度から給付制度を全自治体で実施とし、2年間の経過措置を設けるとされております。</p> <p>富津市の状況としましては、直近の令和5年度からの試行的事業について、各私立保育園・認定こども園・幼稚園へ情報提供いたしましたところ、実施希望はなく、また、市で運営する公立保育所におきましても、0歳から2歳児に係る保育士確保に苦慮しているところでありまして、試行的事業の実施は困難であると判断したところです。</p> <p>以上が制度概要となりますが、市といたしましては、孤立した子育てをなくすべく、この制度を実施につなげていく予定ですが、実施を検討するにあたり、委員の皆様の様々なお立場からのご意見が頂戴できればと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご意見、ご質疑等がございましたらお願いします。</p> |

| 発言者             | 発言内容  |
|-----------------|---|
| オノミチ委員          | <p>この制度はとても大事な制度だと思いますが、確かに保育所等の受け皿の方が難しい現状ということは、よく分かります。</p> <p>これは、例えばお子様と保護者はやはり保育所に通うような感じで、お母さんは別の場所で自分のことをする、お子さんは保育所に行くというような形をとるのか、それともお母さんも一緒にその時間を保育所で過ごすとしてもいいとするのか、どちらでお考えでしょうか。</p> |
| 事務局<br>(渡辺保育係長) | <p>国もこれから制度を固めていくようなところでして、これからまた変わってくるかもしれないですけども、今こちらに来ています情報によりますと、親子通園、こちらも認めるとして、お子さんだけで通園できるように促していくとそういったような情報は来ております。</p> <p>実施となったところで、どのような形態で実施するかは、まだ不確定なところではあります。以上です。</p>          |
| 議長 (諸岡会長)       | 他に何かございますか。   |
| 今井副会長           | <p>各園では、多分未就園児のお子さんの体験みたいな形で、うちの園ですと「つぼみ教室」という形で月に1回とか2回、保護者の方と1、2歳の幼児の方が一緒に来て、1時間2時間体験をするみたいな事業もしているのですけれども、それもこういう事業と繋がるのでしょうか。それとも、それはまだ確定してないのでしょうか。その辺、もし分かっていたら教えてください。</p>                 |
| 事務局<br>(渡辺保育係長) | 既存のそういった教室なども開いてらっしゃると思うのですけれども、こちらは、通園制度ですので、定期的に通園す   |

| 発言者   | 発言内容   |
|-------|--|
| 今井副会長 | <p>ることになりますので、例えば毎週この曜日は園に通うですとか、そういったことを園としても把握していることになりますので、園と保護者、子供が繋がることで、何か困ったことですとか、子育てで支援が必要なことが把握しやすいといった面でこの制度を実施するということですので、定期的な通園か否かというところではないかと思っております。</p> <p>そのような形ですとやはり人員の確保、人材の確保というのが各園ではどうしても必要なわけですね。こういう事業を進める上で、国の方にも、市としては予算を確保していかなければこういうものが難しいというところをぜひ声を上げていただければと思います。よろしくお願いたします。</p>   |
| 宗政委員  | <p>今実施する予定でいるとおっしゃっていてちょっとびっくりしたのですが、このこども誰でも通園制度って、本当に現場では確実に来るかどうか分からない人たちのために、そもそも人材確保しなければなりませんし、お母様たちにするとレスパイトの機能もあるのですが、ここに書かれている制度の意義は既に子育て支援センターが十分に担っておりまして、地域の子育て不安解消ですとか関係作りとかというところは。ですので、なかなか進まない少子化対策と言いますかそういうところも、何でもいいから作ってしまっている制度のように私は感じます。学生たちにも保育を志す者として、国が言ってくる制度が実際どういう意味を持っているのか、建前と本音というところのルールでいうと、この制度は決して実は子育て世帯にとって必要な制度ではないというように私は授業の中で伝えていきます。</p> <p>今井委員がおっしゃったように、国がやっているからうちでも実施しますということではなくて、既に市の中で定員の</p> |

| 発言者                      | 発言内容  |
|--------------------------|---|
| <p>事務局<br/>(小野田保育課長)</p> | <p>見直しというところで、子供、利用者の確保というのがすごく現実的な課題になっているときに、その現状を置いたまま新しい制度を実施することを前提としてしまうとちょっと違うのではないかなというように私は思いますので、まずこの部分で言えば、子育て支援センターがしっかりと今周知徹底され利用者もいるというところを行政として国に報告し、必要なければ必要ない、その地域の実情として必要ないとかできないとかというところをまず固めた上で会議の方にご提案した方がそこから議論になっていくのではないかなというように思います。</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>私ども予定と申し上げましたけれど、そこが適切かどうか検討をしていきたいなと思っております。</p> <p>やはり子供を抱える家庭が孤立しないようにというところは非常に響くところなので、可能であれば、事業を実施したいなというところで皆様からの意見をお聞きしたいという中で、専門家の立場の委員からそのようなご意見を伺いましたので、これも今日ここにお聞きした一つ成果だなと思っています。</p> <p>それで、今の現状でいきますと0～2歳児を途中で保育に欠けない子を結局受けるということは、受け皿として今厳しいところで、少子化が著しい中で、増えてもらえればそれは希望ですけど、これがもっと定員の枠内に収まらなくなって余裕ができてきたときに、そういう保育に欠けない家庭、孤立してしまいそうな、そういう家庭のお子さんを保護者も含めて通園させることによって支援できないかなというところは将来的にあるのではないかなということもあるので、皆様のご意見をお聞きしたいということで今日お話をさせていた</p> |

| 発言者      | 発言内容  |
|----------|---|
| 議長（諸岡会長） | <p>だいたところですか。ありがとうございました。</p> <p>他に何かございますか。</p>  |
| 木村委員     | <p>青堀保育園長の木村と申します。</p> <p>今いろいろなお話を聞かせていただいて、一施設を運営させていただいている者として、今、待機児童の問題の方が大きいかなと。実際入れたくて本当に必要な保護者の方のニーズに答えられていない現状の中で今後、やはり市のサポートを私達はもっといただきたい。</p> <p>あとは不安だったり孤独な保護者の方への支援の中でも、やはりこういった場所で情報を提供したらいいのかとか、そういったところをもっと具体的にさせていただいたら私達も行政ともっとうまくやっていけるのではないかなというところと、そういった専門の方がやはり施設側にも寄り添っていただいて、一緒に悩んでいる保護者の方に寄り添う機会を作っていたら、こういった保護者の方たちがより利用がしやすいのではないかなということと、あと保育士を目指す学生さんたちが今減っているという現状もとても耳にしています。学生さんたちに誰でも通園制度のような取り組みをもっと身近で感じてもらい、この保育園に勤めたいというように思っていたらなというように思いました。以上です。</p> |
| 議長（諸岡会長） | <p>他に何かございますか。</p>  |
| 牧野委員     | <p>市民公募で参加させていただいております牧野です。今年初めてこのような会議に参加させていただいて、自分が今、農業をやっているという立場もあります。今高校生と中学生の子供がいて、今こちらにいらっしゃるお母さんたち</p>   |

| 発言者      | 発言内容   |
|----------|--|
|          | <p>もいっばい話したらいいなって本当に心から思います。自分たちのときに大変だったことと、今のお母さんたちの大変なことって全然違って、年代が違う人たちが交わることってなかったりとか。例えば分かりやすく言うなら、私達のときは携帯がなかったので、LINEで繋がるとか、そういうところもなかったので。若いお母さんたちがLINEでいろいろ抱えていて、今高校生になる娘も母になったときにこれがついていって、いろいろ世間の情報が多すぎるので余計不安になってきて、根本的なものをお母さんたちが忘れてしまっているというか。ただ目の前の子供を、自分が産んだ子を見ればいいという本当に単純なことですけど、周りのその環境がややこしくしてしまっていて、こうしなくちゃいけないとか、うちの子何かちょっと違うかなとか。私達の時代は違っても大丈夫でしたけど、今は、子供たちはこうなってなくてはいけないみたいな、そういうものがあるのかなって。こういう場で、本当にいろいろな方がいるので、みんなが喋れたらいいなって思ったので、今のお母さんたちも本当にありがたく来てくれているので、すごく話せたらいいなと思いました。</p> |
| 議長（諸岡会長） | <p>&lt;次第8 閉会&gt;</p> <p>他に何かございますか。</p> <p>ないようですので、以上をもちまして、令和5年度第3回富津市子ども・子育て会議を閉会いたします。</p> <p>委員の皆様には、長時間にわたりありがとうございました。</p>   |